

第 4 回 長崎市平和公園スポーツ施設の再配置に関する再検討部会

1. 開会

- 事務局より開会の挨拶

2. 挨拶

- 松浦土木部長より挨拶

3. 議事

- 配布資料の確認
- 13 人中 11 人が出席しており、委員の過半数が出席しているため、会議が成立していることを報告
- 部会長が会議録の署名人として智多委員、村木委員を指名
- 智多委員、村木委員が承諾

(1) スポーツ施設の再配置先の評価に関する意見交換

- 「資料 1」について事務局から説明
- 質疑応答

【部会長】

- ・事務局からの説明を踏まえ、市民総合プールの再配置先の評価を行い、再配置先の案を決定したい。
- ・先ほどの説明に対してご意見ご質問を承りたい。

【委員】

- ・第 4 回再検討部会の会議資料について 2/5（月）の夕方という確認の時間が取れないタイミングで届いた。今後このようなことがないように強く要望したい。
- ・資料 1 の 8 ページでは、市民総合プールの移転先として平和公園の陸上競技場が適当とされており、全く納得しかねる。
- ・公共交通機関のアクセス性、駐車場、交通混雑の総合的な評価では、中部下水処理場と平和公園の陸上競技場の間に有意な差はないと考えている。また、整備費用の算出根拠や平和公園の場所性、まちづくりの観点からの評価も全く分からない。
- ・平和公園の陸上競技場は、中高生の部活動の拠点であり、市民のスポーツ、健康増進、憩いの場でもあり、平和公園の中のスポーツ施設の中で最大である年間推計約 35 万

人の老若男女が多様に利用している宝の場所である。

- また、陸上競技場は平和の大切さを世界に発信する平和公園の西側スポーツゾーンの中心的施設であり、平和公園の東側ゾーンと浦上川の西対岸の城山小学校平和祈念館つなぐ位置に立地している。
- 加えて、平和公園の陸上競技場は、長崎市北部の限られたまとまった平坦地であるため、災害時のヘリコプターの発着や物資集積地などとしても貴重な場所である。
- さらに、平和公園の地下には被爆者の遺骨が多数あり、原爆遺構的な場所でもある。
- 以上の理由で、経済合理性だけで判断せずに、目に見えない価値を含めた総合的な観点から検討し、評価した方がいいと主張してきた。
- こうした理由から、私たちは再配置先を総合的に評価し、平和公園の機能の減少を最小限に抑えるような再配置が必要であると強調してきたが、事務局が示した案は、私たちの意見に全く応えていないと言わざるを得ない。
- 平和公園の陸上競技場を現在地に存続してほしいという利用者市民の声を反映した請願が、2022年12月の市議会で全会一致で採択されている。
- また、鈴木市長は、長崎南北幹線道路の早期完成と平和公園の陸上競技場の存続を両立させる方法はないかしっかり検討すると述べていた。
- 事務局はなぜ当初の案を再検討しなければならなくなったのか、もっと真摯に受け止めるべきであり、再検討部会としても、資料1で示された案について時間をかけて慎重丁寧に議論されることを望んでいる。
- 資料1について質問の一つ目は、市民総合プールを移転整備する費用のうち、市民総合プール本体の建設費用の概算を、候補地の比較には関係しないという理由で示されていないということである。
- 新しく整備する市民総合プールの規模が示されなければ、屋外の流れるプールを含む子ども向け、ファミリー向けの施設が縮小されるという懸念が払拭されていない。また、どの程度の基礎工事が必要になるのか検討がつかない。
- 2つ目の質問は、整備費用の比較についてである。まず、土木・建設の専門外の委員や、インターネットの視聴者のことも念頭に置いてわかりやすい説明をしてほしい。
- 中部下水処理場に近い浦上川流域の道路建設などに携わったことのある専門の技術者から、基礎の整備方式には、支持地盤に杭を直接打ち込む支持基礎杭と杭の周辺摩擦抵抗で持たせる摩擦杭の2通りがあると聞いている。また、盛土工事や構造物の基礎を施工する際に、地耐力がない場合、石灰などの改良剤を混ぜる地盤改良があること、支持地盤に直接構造物（プールの基礎）を建設する直接基礎の3種類があると聞いている。支持地盤の土質や深さに応じて、杭の長さや地盤改良剤の数量が異なるのではないか。
- 資料1の5ページでは、支持地盤の位置の違いから中部下水処理場では、深層地盤改良を採用し、平和公園の陸上競技場では、浅層地盤改良を採用するとされており、こ

これらの整備方式の違いが、両者の基礎整備費用の違いになっていると考えられる。

- ・ボーリングによる地質調査の結果をもとに、両者の概算工事費を算出する上での深度の決定の仕方について説明していただきたい。
- ・また、現在の市民総合プールの基礎や、中部下水処理場の約 5,000 本の杭の長さを教えてほしい。
- ・2つ目の質問は、中部下水処理場に近い浦上川流域の道路建設に携わったことがある専門技術者から中部下水処理場付近の橋脚の基礎工事で苦勞した記憶はないと聞いているが、15 億円の根拠を教えてください。加えて、地盤改良をすることも、費用面から深く狭くするのか、広く浅くするのか、比較検討が必要であるとも話している。
- ・3つ目の質問は、地下構造物を取り壊す案と一部残す案があるが、資料1の5ページで基礎形式の選定で、地盤改良を前提としているのに、なぜ両案とも杭基礎になっているのか。
- ・地下構造物を一部残す案を採用した際、およそ 5,000 本の杭を強化し、増し杭をするのが安価だと考えられる。基礎の天端から新しくできるプールの底板までは、地盤改良材を天端の上へ、強度を増した埋戻し土を施工すれば、杭がプールの荷重に耐えられるようになると考えられる。
- ・産業廃棄物を減らす観点からも、中部下水処理場の既存杭の位置が確認できれば、エアレーションタンクの底板や側壁は極力残し、その上に盛土をする工法も考えられる。
- ・4つ目の質問は、駐車場整備に2億円とされているが、非常に高いのではないかと。
- ・舗装工事の経験者によると、必要な駐車場の広さは1台あたり 18 m²であるため、18 m²/台×200 台=3,600 m²となる。
- ・直接工事費の平米単価は、不陸修正工事が 230 円/m²、路盤（厚さが 15cm）の整備が 1,150 円/m²、アスファルト舗装（5cm）の整備で 1,630 円/m²となり、計 3,010 円/m²になる。重機の輸送費や経費を含めると約 6,000 円/m²となる。
- ・以上より、3,600 m²×約 6,000 円/m²=2,160 万円になるため、事務局が示した2億円の根拠について詳しく説明してほしい。

【部会長】

- ・まずは資料1の整備に関する一連のご質問について、事務局より回答してほしい。

【事務局】

- ・地下構造物の増し杭については、既存杭は建設から 63 年経過している。鉄筋コンクリートの耐用年数が 65 年であるため、既存杭を活用して新しい建物を建てるのは難しい。
- ・仮に増し杭という方法を取ろうとしても、既存の杭のピッチは 2 m であるため、プールの大きさから想定される径の杭を入れることはできない。また、そもそも既存杭は

耐用年数を過ぎているため、増し杭は活用できない。

- ・杭の深さについては、ボーリング調査結果や図面や地質の状況に基づき、コンサルタントや建築業者、杭の業者に確認を取り、適当な工法を検討した上で、深さを算出している。
- ・既存杭の深さは、地質調査より13～15mの深さにあるとわかっている。一本ずつ引き抜くと地盤が緩むため、南委員からもあったように、杭を残しながらの工法を検討している。専門家の意見に基づいた結果が、深層地盤改良と場所打ち杭である。
- ・どこかにあるものを選んできて検討しているわけではなく、今の条件で可能な工法を専門家に聞いて出していることを理解してほしい。
- ・駐車場の整備費が高いというご質問については、行政が行う工事をするため、民間での積算方法とは異なることによると考えられる。駐車場整備や陸上トラックの再整備は過去の事例があるため、それらの平米単価などを活用し算出している。また、今回提示した試算は、機械の設備等も含んだ算出となっている。

【委員】

- ・説明は承った。それにしても駐車場整備などは差が大きすぎると思うため、今の話を含め精査したい。

【事務局】

- ・平和公園の陸上競技場には被爆遺構があるとおっしゃったが、陸上競技場は被爆遺構ではない。仮に被爆遺構であれば、平和公園西地区に施設をつくることはできない。
- ・平和公園の東地区は祈りなどの場所で、西地区はスポーツを通して身近に平和を感じられる場所であり、市民総合プールを置くことは、その主旨を変えることにはまったくならないと思われる。

【部会長】

- ・他の委員からの意見も聞きたい。

【委員】

- ・中野土木企画課長から話があったとおり、平和公園の陸上競技場は被爆遺構ではないと思う。

【委員】

- ・私の実家は爆心地に近い坂本町であり、おじやおばが亡くなっている。相当数のご遺体を駒場の陸上競技場で茶毘に付し、引き取り手がないためそこに埋められていると聞いており、おじやおばの遺骨もない状態である。

- ・陸上競技場の地下には遺骨が埋まっているため、被爆遺構ではないとしても、5 mの深さに安定基礎があるという理由だけで進めてはいけないと思う。
- ・資料を見たが、啞然とした。平和公園の陸上競技場が再配置先としてよいといった市の方針に対してのイエス・ノーを決める場ではなく、より議論をしてどちらが良いかを模索していくべきではないかと思う。
- ・中部下水処理場に市民総合プールを整備する場合は、莫大な費用がかかるが、なんとかクリアする方法はないのか。将来的に陸上競技場の利用者が約 35 万人いるという中で、いい場所だったけど市民総合プールの整備費用がかかるから陸上競技場をなくしたとは言えないと思う。もう少し協議して結論を出したい。

【事務局】

- ・平和公園について、遺骨に配慮した整備をすべきと意見があったが、我々もそう思っている。過去に松山町駐車場を整備した際には、遺骨が出たら、工事を一時中断し、供養している。原爆被爆対策部と連携して進めてきたという経緯がある。今後の整備でも、亡くなられた方を弔いながら進めていきたい。
- ・今回示した評価案は、前回までの委員の意見を基に評価軸をつくり、それに基づいて客観的に評価したものである。
- ・今回示した結果は、これまでの評価軸をもとに評価した結果であると捉えてもらえればと思う。それについて、事務局が押し付けるということではなく、委員で議論して最終的な方向性を導いてほしい。

【委員】

- ・駐車場交通混雑の問題について、長崎市は平和公園の陸上競技場に地下駐車場を整備する方針を明らかにしていたが、資料 1 の 4 ページの整備費に計上していない理由を教えてほしい。
- ・中部下水処理場に再配置された場合の駐車場に関しては、隣接する市営茂里町駐車場（収容台数：123 台）を活用できるのではないか。
- ・2 つ目は、長崎スタジアムシティは、商業施設の利用者向けを中心に約 1,000 台収容可能な駐車場を整備することになっており、活用することが可能なのではないか。
- ・長崎スタジアムシティが掲げる基本方針では、JR の駅とのアクセス性が良いことも含めて、公共交通の利便性を最大限に活かし、試合やイベント時は可能な限り公共交通機関の利用してもらおうこととなっている。
- ・長崎スタジアムシティでのサッカーやバスケットボールの年間の試合数は限られており、Jリーグの公式戦は、秋から春にかけて開催されるため、夏の利用者が多い市民総合プールとは混雑時期が重ならないのではないか。
- ・また、トランスコスモススタジアム長崎での Jリーグの試合では、事前にスケジュー

ルが指定されるため、陸上競技の大会などと重ならないように調整しているため、市民総合プールが中部下水処理場に移転したとしても、同じような調整は可能ではないか。

- ・長崎県立総合体育館での長崎ヴェルカの試合の来場者は、大半が自動車ではなくバスや電車を利用しているとのことであったが、中部下水処理場は長崎県立総合体育館より公共交通機関の利便性が高いため、より一層公共交通機関の利用者の割合が増えると考えられる。
- ・3つ目は、松山町交差点については、長崎南北幹線道路の松山 IC が建設されることに伴う交通混雑に関する問題があることを指摘したい。
- ・長崎県は、松山 IC の一日当たりの交通量を約 8,000 台と推計しており、国道 206 号から長崎南北幹線道路への一定の交通量の移行は想定されるものの、現在でも朝夕の松山町交差点における激しい渋滞はさらに拡大すると思う。長崎県の交通シミュレーション結果が出るまでは楽観視できない。
- ・長崎県土木部が平成 25 年 1 月の平日に行った調査では、松山町交差点は宝町交差点より渋滞長が長く、茂里町交差点では全く渋滞は見られないという状況である。
- ・公共交通機関からのアクセスに関する意見について、資料 1 では、市民総合プールが平和公園の陸上競技場に移転する場合の整備位置を、現在の陸上競技場のトラックカーブのあたりに設定して距離を計測しているが、実際のプールの建設予定地はもっと陸上競技場の中心に寄るのではないか。
- ・「長崎市営松山平和運動公園を守る会」が、両候補地で電停、バス停から実際の予定地とみられる位置までの歩数を実測したところ、平和公園の場合、電停（平和公園停留場）から 150～210 歩、バス停（平和公園）から 240～300 歩、中部下水処理場の場合、銭座町電停から 300 歩、銭座町バス停から 330 歩であった。そのため、平和公園内に再配置される場合の実際の予定地までの歩数と中部下水処理場に再配置される場合の歩数では、両者に差は無いに等しい。
- ・中部下水処理場の方が、JR 長崎駅・浦上駅からのアクセスは断然優位で、長崎スタジアムシティの遊歩道などの整備が進めば、中部下水処理場の方がアクセス性は明らかに優位である。
- ・場所性・機能性について、平和公園の陸上競技場を現在地に残し、市民総合プールを中部下水処理場に移転した方が、陸上競技場、市民総合プールそれぞれの潜在可能性を活かせる考える。
- ・中部下水処理場に市民総合プールを整備した場合のメリットとして、1つ目は平和公園での整備では、高さや敷地面積の制約を受けるが、中部下水処理場であればそれがなく、九州随一のプールを整備することも可能となる。
- ・2つ目は、長崎スタジアムシティや周辺のホテルを利用する選手や宿泊者が市民総合プールを利用できることである。また、大きな水泳大会を誘致する際も、JR の駅から

近く、ホテルや商業施設、レジャー施設が隣接していることは強みになる。

- ・長崎スタジアムシティでのイベントや出島メッセ長崎での国際コンベンションでは、長崎遊泳協会独自の日本古式泳法を披露する新たな機会も生まれ、スポーツと伝統文化が融合した長崎らしいおもてなしとして、外国人観光客に喜ばれるのではないか。長崎県の人口減少率は、全国ワースト5位とされており、交流人口の拡大を図らないといけないため、私たちの提起は重要なものになると思う。
- ・以上のように、中部下水処理場に移転することで、長崎市の水泳が新たに発展する可能性を提供する機会になるのではないかと思う。

【部会長】

- ・交通混雑と駐車場に関して、中部下水処理場では隣接駐車場との連携が考えられるという意見や中部下水処理場の立地特性上、駐車場整備に関連する自動車利用者をどう考えているかという意見を頂いた。
- ・公共交通機関でのアクセス性に関しては、アクセス性の計測における起点の設定の妥当性に関する意見、交通渋滞に関しては、松山町において色々な形で渋滞が発生しているが、それらの条件はどう考慮されているのかという意見を頂いた。
- ・場所性・機能性に関しては、中部下水処理場に移転する方が、比較的規制条件が緩いため、大きな施設が整備でき、長崎スタジアムシティや JR 駅、出島メッセ長崎等との連携によって、能力をフルに発揮できるため、市民総合プールを設置する潜在的可能性が高いのではないかという意見を頂いた。
- ・これらの一連の意見に対して、事務局より回答をお願いしたい。

【事務局】

- ・質問と意見が混在していたため、質問に対しては今後整理した上で回答したい。
- ・平和公園の陸上競技場の地下駐車場について、整備は確定しているわけではない。検討委員会で、長崎南北幹線道路が整備された際に、駐車場需要が出てきたら検討するという話があっただけで、市民総合プールを平和公園内に再配置するだけあれば、既存の松山町駐車場で十分であると考えている。
- ・交通混雑について、おっしゃる通り見方によって評価の仕方が異なるという意見もあったが、あくまで標準的な形で整理しており、公共交通・自動車、大型バス等のアクセス性では、既存の駐車場が使えるかどうか、費用面で関わってくる。
- ・交通負荷という観点では、市民総合プールの再配置先が平和公園の陸上競技場の場合は、平和公園内で移転するだけなので交通負荷は変わらない。松山 IC による交通混雑の変化は注視すべきだが、あくまで市民総合プールの移転によって生じる交通負荷を比較している。
- ・長崎スタジアムシティ完成後、中部下水処理場に市民総合プールを再配置するとどう

なるのかという観点では、市民総合プールでは現在でも土日によくのイベント・大会が行われているため、長崎市スタジアムシティでの試合が同日に開催されることが懸念される。

- ・公共交通機関での来場を周知しているが、自動車で来る人もいる中で、大会が同時開催された場合、長崎スタジアムシティの駐車場はあくまでもスタジアム利用者のための駐車場であるため、市民総合プールの利用者分も受け入れられる余力があるかは不明である。また、現時点での連携可能性は不明である。
- ・あくまでも場所性と今の計画の中で比較検討したものが資料1の評価である。比較の仕方について意見があればいただきたい。

【部会長】

- ・資料1はあくまでも最終決定するための参考資料であり、客観的なデータに基づいて漏れがないかなどの委員の意見をいただいて合意のもとで評価を決めていく。
- ・一部の委員の意見しか伺えていないので、資料1の説明や委員と事務局とのやり取りを踏まえて一人ずつ意見を伺いたい。

【委員】

- ・資料1の7ページの維持管理費用について、中部下水処理場では地下水の取水をしているのか。

【事務局】

- ・中部下水処理場では地下水の取水はしていない。

【委員】

- ・隣地の長崎スタジアムシティでは温泉が出るため、中部下水処理場でもそこまで深くないところで取水ができると思う。
- ・仮に平和公園の陸上競技場に市民総合プールを移転する場合に、現在の市民総合プールの地下水を取水している場所から新しいプールにポンプで送水することは可能か。

【事務局】

- ・それぞれの候補地で、地下水の利用ができるかどうかは、現時点では評価できないため、評価の対象としていない。
- ・中部下水処理場で地下水の取水ができれば使うことができるが、掘る深さによって整備費用が変わる。現時点ではそこまで調査できていないため、評価していない。

【委員】

- ・今回初めて候補地を評価してあるが、中部下水処理場の方が、欠点が多いように見え、客観的に見て評価が偏っていると思う。事務局には、公正な立場で評価していただき、指摘されて修正するような数値は好ましくない。
- ・再検討部会が発足した経緯からも、公正な数値を基に委員間で意見交換する方向性に持って行ってほしい。また、土木や建設を専門とする委員はあまりおらず、事務局から提供された数値を基に協議するので、公正な数値を出してほしい。

【委員】

- ・テニスコートやソフトボール場の場所に市民総合プールを移転しないのは、面積が足りなかったからということか。テニスコートを中部下水処理場に移転させれば、既存杭の問題も解決するのではないかと思っている。

【事務局】

- ・長崎南北幹線道路はテニスコートの一部にしかかからず、現状のまま使うことができるため、残せるものは現位置に残すというところからスタートしている。
- ・また、弓道場は静かな環境が必要なので、移転が難しく現状の場所となり、ソフトボール場は平和公園外でもよいということから今の計画になっている。
- ・弓道、テニスの関係団体とこれまで協議をしてきたが、テニスコートを平和公園外に移転するという議論は行っておらず、現位置に存置するというところで進めている。
- ・こうした経緯から、最終的に市民総合プールと陸上競技場の再配置先をどうするか議論になっている。

【委員】

- ・公共交通機関からのアクセス性について、候補地は電停から半径 800m以内とするという大枠がある中で、たった 50mほどの違いで、評価に差をつけることが疑問である。起点の取り方によって一緒くらいの距離ではないかと指摘もあった。
- ・機能性では、中部下水処理場が平和公園の陸上競技場よりも、面積や形状も含めて優位であるため、優劣をつけるべきではないか。
- ・アクセス性について、バスと電車からの距離の比較であるならば、JR の駅も評価の基準に入れるべき。
- ・また、まちづくりの観点から見たときに、駐車場ありきの施設が今後必要なのかという点も検討すべき。
- ・経済性について、長崎市 HP で公開されている資料の通り、中部下水処理場の跡地には何らかの施設をつくるのが根底にあるため、市民総合プールの基礎工事にかかる 15 億円は、どんな施設を整備するにしても必要経費なのではないか。従って、その費

用の試算を用いた評価は、偏った評価であると思われる。

- ・資料1の8ページの道路横断について、資料では、公共交通機関から中部下水処理場にアクセスする上で、道路横断箇所が3～4箇所あるとされている。現状はJRの高架下に道路は無いが、整備予定であるため、そこを横断箇所として数えているのか。
- ・資料1の4ページの交通混雑において、パターン1（中部下水処理場）の黄色のポイントは実際の交差点と位置がずれているため、確認して訂正したほうがよい。

【委員】

- ・公共交通機関のアクセス性について、約14万人の交通弱者（子どもたちや高齢者、身障者）や有料で来ている市民総合プールの利用者の立場からすると、平和公園の陸上競技場の方が交通弱者の方々にとって、圧倒的に優位であると思う。
- ・長崎スタジアムシティでは、今後コンベンションを含めたイベントや大会が増えると思う。茂里町や銭座町はオフィスやマンション、商業施設、学校の通学路に加えてスポーツ施設が整備され、さらにイベントや大会が増える環境の中で、子どもたち（特に幼稚園児や低学年の子どもたち）が安全に快適に過ごす環境としては、平和公園の陸上競技場の方がよいと思う。
- ・経済性については、市民の立場で考えると、大切な税金を使うということから、大きなファクターであり、議論の柱になると理解している。
- ・従って、公共交通機関のアクセス性や経済性からご判断いただきたい。

【委員】

- ・先ほどたくさん発言させていただいたため、一周した上で時間があれば発言する。

【委員】

- ・南委員からのご質問・意見が30～40分あったが、2時間の会議で、一人の方がそれだけの意見を述べることは、会議の経済合理性から望ましくない。内容についても議論の本質から外れた部分が多かったように感じた。
- ・土木の積算について、事務局は、出来るだけ客観的に判断をするという形で、専門家にも意見を聞き、また土木部は専門家でもあるということで、私は評価している。
- ・この再検討部会にかける前に、経済性や交通については、南委員と土木部と打合せをし、積算の客観性についてお互いに合意できるものを資料として出していただき、それに基づき判断したい。
- ・このような進め方で時間的に問題ないのか。

【事務局】

- ・この議論は年度内を目途にしていたが、拙速にやることは考えていない。必要があれば

ば、委員の皆さんには申し訳ないが、回を重ねていくと考えている。

【委員】

- ・必要があれば回を重ねることに異論はないが、検討委員会で再評価となり、この再検討部会ができた以上は、この再検討部会で一定の結論を出さなければいけない。
- ・細かな質問は整理をした上で、一定の客観性を持った資料を再検討部会に提示してほしい。事務局にもお願いしたい。客観性についての意見交換はこの場ですべきではないと強く申し上げたい。

【委員】

- ・平和公園の陸上競技場の現状の使われ方が守られるのかを最初に考えた。基礎的なアイデアを聞いたところ、市民総合プールが陸上競技場に移転してもグラウンドの中に十分な場所を確保できるということであったので、それならば、外周に600m走路を整備してほしいと意見した。
- ・再検討部会で委員の意見を伺っている中で、長崎南北幹線道路というハード一つであまり大きく変えるのはいかなものかと思ったので、中部下水処理場を提案した。そうした中で、中部下水処理場への移転は、相当な経費がかかるのであれば、断腸の思いで平和公園の陸上競技場に移転することもやむを得ないという意見も言った。
- ・中部下水処理場を何に使うか決まっていないのに、基礎の地盤に基づき金額を出すと、明らかな差が出てしまう。
- ・長崎市が抱えている問題を解決するための都市機能の整備に、中部下水処理場が活用される方法はないのかと思っている。
- ・私自身、平和に関係している立場上、長崎市が世界に向けて持つアイデンティティを崩すような結果にならないようにしてほしいと思っている。

【委員】

- ・長崎市水泳連盟や水泳愛好者が活用する市民総合プールが迷惑施設であるかのような形で進んでいてすごく残念である。
- ・1点目は、中部下水処理場に市民総合プールが整備される場合の周辺駐車場のコントロールについてお伝えしたい。
- ・現在の市民総合プールの利用料金は2時間で470円、松山町駐車場でパークアンドライドを利用すると620円となるため、合計で1,090円かかる。
- ・長崎ブリックホールの駐車場料金は現在、最初の30分は130円、その後120円/30分であるため、同じ駐車料金とすると、2時間市民総合プールを利用すると、前後の時間も含めて、合計610円となる。パークアンドライドを行っていないため、協議会で朝から閉館の20時に利用する場合には、膨大な金額になる。

- ・加えて、地下水が使えない場所に移転すると、3,000万円以上の水道代がかかるため、利用料金が上がるとなると、死活問題となる。
- ・一方で、陸上関係者は競技場を無料で利用しており、また、一部の指導者は路上駐車場で駐車料金を払っていない人もいる。水泳関係者は、市民総合プールからの指示もあり、全員必ず駐車場に入れている。
- ・2点目は、市民総合プール利用者は、全ての料金を払い、受益者負担の原則で利用しており、その利用者数を正確に把握している。平和公園の陸上競技場の利用者数が35万人という数字が出ているが、これは通行人や犬の散歩等も含まれているため、これらの数字を対等に扱うのは難しい。
- ・市民総合プールが移転する場所も含め、迷惑施設のような印象を与えることはやめていただきたい。強く要望する。
- ・3点目は、広島市の原爆ドームから徒歩5分のところにあるエディオンピースウイング広島を先日視察したが、周辺施設を含め、平和の憩いの場として、大きな公園が整備されようとしている。そのようなものを見ると、新しい平和の在り方、みんなが集まる場所・公園を整備するのも面白いと思う。
- ・平和公園の陸上競技場に市民総合プールが移転した場合には、市民総合プールに加え、公園を整備し、周辺住民も平和公園の利用者も使えるような芝生公園になると、広島みたいな感じになるのではないかと考えていた。
- ・また、陸上競技場を400mトラックにこだわるのであれば、中部下水処理場は400mトラックを整備できるため、最適な場所ではないか。さらに、市民総合プールと異なり、陸上競技場は無料で利用できるため、公園として整備するのがよいと思う。

【委員】

- ・最初の再検討部会でも申し上げたが、PTAが多く保護者の団体であるため、様々な意見を頂いており、PTA連合会としてはどちらがよいとは言える立場ではない。
- ・私個人の意見が出てくることも了承していただいて参加しているが、保護者の中には私と異なる意見があると思われるため、難しい判断を迫られており、責任を持ってやらないといけないと痛感している。
- ・平和公園の陸上競技場も市民総合プールも保護者の子供が利用している。被害が少なく、今と変わらない現状で生活できることを一番望んでいる。
- ・どちらの敷地にどの施設が移転したとしても、子供たちが行き来しやすいような、交通機関があればよいと思う。子供たちが危険にさらされることなく、心地よく使える環境を一緒に意見をすり合わせながら考えたい。

【委員】

- ・1点目については、将来性・連携性において、長崎市都市計画マスタープランや長崎

都心まちづくり構想との整合性を見ているが、どちらの敷地も川辺のエリアに属しているという点では、大きな違いはないかもしれない。

- ・まちづくりの観点からの議論では、各候補地の潜在的可能性について考えなければならない。
- ・南委員が、市民総合プールが中部下水処理場に移転した場合にみられる効果について意見を言っていたが、平和公園の陸上競技場に移転した場合にも、中部下水処理場の跡地の将来性を確保できるといった、別の敷地の方の可能性が出てくるという面がある。中部下水処理場の跡地は、いま議論されている文化施設の候補地にも挙がっているため、貴重な公有地であると考えられる。
- ・こうした観点から、この敷地ではなく別の敷地にした場合にはどのような可能性が出てくるのかという広い観点から議論があってもよいのではないかと思う。
- ・2点目は、潜在的な可能性に関してはプラスの効果の議論になりがちだが、一方でこの案になった場合にはこういう課題が考えられるというデメリットも含めた総合評価が必要かと思う。

【部会長】

- ・当初の予定では、市民総合プールの移転先について、資料1の結果について大筋の決定をすることがミッションだったが、評価への疑問点が多数出ている状況下では、移転先を決定することは難しいと思う。
- ・従って、評価の論拠や妥当性については、疑問持った方の意見をくみ取り、事前に説明して、疑問をクリアした資料で議論をするべき。
- ・現在初めから資料には評価が付いているが、合理的な基準よりも我々の経験が数値以上に大きな役割を發揮することもある。客観的な数値とその数値への意見を踏まえて、最終的に評価をつけ、評価結果の文言を考える流れが望ましいかと思った。
- ・この提案に対して事務局としてはいかがか。

【事務局】

- ・今回の評価を再度精査することに併せて、第5回再検討部会では、陸上競技場を中部下水処理場に移転するパターンや平和公園内で再整備するパターンを踏まえ、総合的に議論していただくと、よりうまく意見が出るのではないかと感じた。
- ・第5回再検討部会の進め方について、委員から意見をもらいたい。

【委員】

- ・第5回再検討部会では、陸上競技場、市民総合プールに加え、長崎市民のための憩いの広場となる芝生公園を同次元でテーマに出してほしい。
- ・長崎市南部には水辺の森公園の芝生広場、北部には平和公園の陸上競技場の芝生広場

があり、平和の発信を含め長崎市にとって非常に大事なポジションだと思う。

- ・平和公園内に市民総合プールと陸上競技場が併存する場合には、市民総合プールと陸上競技場と同列で、長崎市民の憩いの広場も一緒に議論してほしい。

【委員】

- ・現在の陸上競技場は再配置した場合には「陸上練習場」になるという前提がある。再配置するものは「陸上練習場」であることを前提に議論をしないと、前提条件が変わってくるので、その部分を意識共有すべき。

【委員】

- ・練習拠点で構わないが、400mトラックにはこだわりたい。荒木委員から中部下水処理場に移転することはどうかという意見があったが、その案も十分に検討の余地がある。水泳は25mプールで練習すると聞いているが、陸上は競技の特性上400mトラックで試合を行っているので、競技性を求める上では、400mトラックにこだわりたい。
- ・現在の平和公園の陸上競技場はクレイ舗装だが、西海市にある大瀬戸総合運動公園などの陸上競技場はアンツーカーという人口砂で、準全天候型となっている。現在の平和公園の陸上競技場もだが、雨天時でも多目的に使えるようになればいいと思う。
- ・可能な限り陸上競技場が400mトラックの状態であることは残し、その空間を有効活用し、陸上競技場と多目的という立ち位置を持てるようにすればいい。

【部会長】

- ・質の問題はあるが、練習場という認識でよいということか。

【委員】

- ・その通りである。

【部会長】

- ・第5回再検討部会では、精査された結果に基づき再検討を行い、市民総合プール、陸上競技場で、順番に候補地を決めていくのではなくて、憩いの広場も含めた三者を関連付けながら検討していくということによろしいか。

- ・異議なし

- ・予定していた議事はできなかったが、以上となる。委員の皆様におかれましては、多角的な観点から有益なご意見をありがとうございました。

閉会

- 次回の再検討部会は3月中旬から下旬を予定。
- 事務局より閉会の挨拶